

Fellowship ID : BR240404

2024 年 12 月 11 日

YYYY/MM/DD

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

To: President, Japan Society for the Promotion of Science

研究活動報告書

Research Report

1. 受入研究者/ Host researcher

受入研究機関・部局・職 国立大学法人東京海洋大学

Name of Host Institution, Department and Title 学術研究院 海洋生物資源学部門 教授

受入研究者氏名

Host Researcher's Name

芳賀 穰

2. 外国人招へい研究者/ Fellow

所属研究機関・部局・職 University of North Carolina Wilmington

Name of Institution, Department and Title Research Associate Professor, Center for Marine Science

外国人招へい研究者氏名

Fellow's Name

Alam Md Shah

3. 採用期間/ Fellowship Period

2024 年 11 月 1 日 ~ 2024 年 11 月 16 日

4. 研究課題/ Research Theme

日本の水産養殖学研究ならびに関連産業の動向調査と将来的な連携強化に関する研究

5. 研究活動報告/ Research Report

(1) 研究活動の概要・成果/ Summary of Research Results

11/1 から 11/12 まで東京に滞在し、東京海洋大学品川キャンパス、同大水族養殖学研究室ならびに水族栄養学研究室、同大フィールド教育研究センター館山ステーション、同大海洋生殖工学研究所、水産教育研究機構本部、日清丸紅飼料、マルハニチロ、豊洲市場を訪問し、招へい者が離日した 2003 年以降の約 20 年間の水産養殖業界および研究動向の変化を調査するとともに、今後の産業ならびに研究の見通しについて聞き取りを行った。また、東京海洋大学においてセミナーを開催した。11/12 から 11/16 までは鹿児島に滞在し、鹿児島大学水産学部、同大東町ステーション、同大ステーション、東町漁協を訪問するとともに鹿児島大学においてセミナーを開催した。館山ステーションでは、スマ、メバル、マサバ、ニベ、カイワリとマアジの交雑種の飼育状況を視察することができ、今後の米国での新魚種開発について重要な知見を得ることができた。また、水族養殖学研究室ではアクアポニックスとハタ類の閉鎖循環式飼育施設の見学を行った。水産教育研究機構本部では、研究動向の聞き取りに加えて、日本と米国の国レベルの交流活動である UJNR 会議の今後の方向性や開催場所に関する意見交換を行い、次回のアメリカでの開催に関する情報を得ることができた。鹿児島では、鹿児島大学水産学部水族栄養学研究室、同大鴨池ステーションおよび東町ステーション、東町漁協を訪問し、最新の水産養殖の取り組みに関する知見を得ることができた。

(注) 採用期間終了後 3 ヶ月以内に提出

※ (Note) Submit the form within 3 months after the expiration of fellowship.

※ 様式 1 に記載された情報を元に確認しますので、部局名等の名称含め、内容に誤りが無いか必ずご確認ください。



東京海洋大水族栄養学研究室



館山ステーション



東町漁協

(2) 主な研究発表 (雑誌論文、学会、集会、知的財産権等) / Main Research Publications

セミナー「Research on controlled breeding, larviculture and intensive growout of high value marine finfish with sustainable aquafeed in recirculating aquaculture system at the University of North Carolina Wilmington, USA.」東京海洋大学 2 号館カンファレンスルーム 2. 11 月 11 日 16 時から 17 時

セミナー「Research on controlled breeding, larviculture and intensive growout of high value marine finfish with sustainable aquafeed in recirculating aquaculture system at the University of North Carolina Wilmington, USA.」鹿児島大学水産学部. 11 月 14 日 15 時から 16 時



セミナー@鹿児島大学



セミナー@東京海洋大学

(3) その他/ Remarks

(注) 採用期間終了後 3 ヶ月以内に提出

※ (Note) Submit the form within 3 months after the expiration of fellowship.

※ 様式 1 に記載された情報を元に確認しますので、部局名等の名称含め、内容に誤りが無いか必ずご確認ください。